

学校だより

6月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和元年五月三十一日

心豊かな子供たちの育成を目指して

校長 吉野達雄

学校では、他人を思いやる心や生命を尊重する心、自然や美しいものに感動する心、正義感や公正さを重んじる心など豊かな心をはぐくむため、道徳教育に力を入れています。また、家庭や地域でも子供たちの心の成長のために様々な取組をしていただいています。そして、私たち大人が手本を見せることが大切であるということ、私肝に銘じたいと思います。率先垂範ですね。

【校門の上にツバメが巣をつくりました】

何人かの子供たちは、毎朝、興味深くツバメの巣を見上げ、「巣が大きくなってきたよ」「いないなあ、餌を取りに行っているのかな」「ツバメはシュツとしていてかっこいいな」などつぶやいています。また、先日、一年生の教室に顔を出したら、大勢の子供たちが私の手を引きペランダに連れて行きました。「校長先生見て、朝顔の芽が出たよ」「私の芽は大きくて元気でしょ」「小さいけど数が多いんだよ」など嬉しそうに話していました。このように生き物や草花などのふとした変化に興味をもつなんて素敵な心の子供たちですね。道徳の教材は日常の中にもたくさんあります。

【いじめ0を目指して】

学校は集団生活をする場です。一般的に人が集まればトラブルやいじめは起こりうるものであると言われていきます。しかし、それでもいじめによって子供たちの心が傷つけられることは防がなくてはなりません。いじめ0を目指して努力していくのが私たち大人の使命だと思います。昨年度の学校評価保護者アンケートによると、「いじめや不登校の取組」があまり見えないことがわかりました。今年度はいじめ問題を取り上げた授業や子供たちの友達関係の状況などを積極的に発信するとともに、道徳授業地区公開講座では、「SNSによるいじめ」を題材に保護者や地域の方と意見交換したいと考えています。

水泳指導について

小野澤 翔太

本年度も、六月二十四日(月)から水泳の学習が始まります。水泳は体全体を使った運動で、心と体を鍛えることができます。

白金小学校では、以下の三つを目標として水泳の学習を行います。

- 一、水に慣れ、全身運動としての水泳を通して、健康な心身の育成をはかる。
- 二、自己の能力に適した課題をもって水泳に取り組み、技術の向上をはかる。
- 三、プールや水泳上の諸注意をよく理解し、安全に水泳ができる態度を養う。

水泳は、児童が心待ちにしている学習の一つです。しかし、油断をすると生命に関わる大きな事故につながってしまいます。学校では、高輪消防署の方に来ていただき、心肺蘇生法の研修を行います。万一来ていただき、水辺での事故に対し、チームでどのように動いていくかを教えていただきます。本年度も事故が起こらないように、教員一同万全の体制で指導にあたります。

保護者の皆様には、以下の点についてご協力をお願いいたします。

- ・健康診断の結果による治療を忘れず行ってください。現在、治療中の病気や怪我は治してからでないとお参加できません。
- ・いつも以上にお子さんの健康観察・体調管理を十分に行うようにしてください。(プールカードへの記入・捺印、朝ご飯はしっかり食べる等)
- ・忘れ物がないか、記名されているか、お子さんと一緒に確認をお願いします。

プールに入るには、多くの約束事を守らなくてはなりません。学校と家庭がしっかりと連携を図り、子供たちにとって楽しく爽やかな水泳の学習となるようにしていきたいと思っております。

通学路点検・ふれあい月間

生活指導主任 花井 拓也

五月十日に、通学路点検を行いました。当日は、高輪警察、港区学務課、高輪地区総合支所、各町会の方々、PTA校外生活委員、生活指導部担当教員で通学路を点検しながら歩きました。

児童が登下校する道路、公園等を点検し、道幅が狭い割に車の出入りの多いところや路地を進むと行き止まりになり、死角となつて危険を感じる箇所も確認しました。

点検後には、今後の対策について警察や区の職員と話し合いをしました。数か所、気になるところについては、さらに区と協議を進めてまいります。区の担当者からは、町にごみが落ちていたりすることなく、環境が整えられた通学路であり、地域であると称賛の声がありました。

日頃より、地域をよくするために尽力をいただいているおかげと感謝しています。子供たちにもルールを守り、安全な登下校ができるよう、引き続き指導をしていきます。

さて六月は、ふれあい(いじめ防止強化)月間です。ふれあい月間は、六月、十一月、二月の年三回行っています。

六月と十一月のふれあい月間には、全員面接を実施し、全児童から話を聞き取ります。そしてトラブル等があれば解決の糸口を一緒に考えていきます。児童一人一人が友達や他学年の児童に対して、思いやりのある言動がとれるように、努めてまいります。